

第 51 回 神奈川県立霧が丘高等学校 入学式

- 桜の花も新たな門出を祝福しているかのように満開となりました。
- 本日この佳き日に、PTA会長の加藤佳代子（かとう かよこ）様のご臨席を賜り神奈川県立霧が丘高等学校第 51 回入学式をここ「やまと芸術文化センター」でこのように挙行できますこと、職員一同、大変嬉しく思います。
- 本来ならば本校の校舎を使用して、式を執り行なうところですが、本校の体育館が耐震工事により使用できないこともあり、保護者のみなさま方には、ご足労を願い、ご参列いただきましたことに感謝いたします。
- ただいま入学を許可いたしました 329 名の新入生のみなさん、入学おめでとうございます。在校生、教職員を代表してみなさんの入学を心から歓迎いたします。
- また、保護者のみなさま方におかれましては、お子様のご入学に対し、心からお慶び申し上げます。
- さて、新入生のみなさん、中学校までの義務教育が終了し、本日より霧が丘高校の生徒として新たな学校生活が始まります。
- みなさんは、自らの考えと、意志によりこれまでの人生において経験したことのない、高校進学という大きな選択で霧が丘高校を選び、見事に勝ち取り、今、新たな人生を歩もうとしています。
- みなさんが、霧が丘高校を選んだ理由や、入学後の志は、それぞれだと思います。
- 霧が丘高校は、これまでも様々な志を胸に入学してきた生徒に対し、「人の基を創る」を基盤とした社会に有為な人材の育成を図ることを教育理念とし、「憲法・教育基本法に則り、心身ともにたくましく健康で、学力教養と豊かな個性、徳性を身につけた有為な人材の育成」を学校目標に定め、それぞれ個々の目標達成のために進んでまいりました。
- 「人の基」とは、人の基礎となるもの、基準となるものを指します。人としての基礎とは何なのか、社会に有為な人材とはどのような人材なのか。
- この霧が丘高校での 3 年間で、それぞれのことをしっかりと学び、必要な力を身につけてもらいたいと思います。
- また、令和 2 年度からは、インクルーシブ教育実践推進校として、共生社会の実現を目指し、すべての子どもが共に学び、相互理解を深めることを推進しながら「インクルーシブな学校づくり」に取り組んでいます。
- インクルーシブとは、多様性を尊重することを意味するもので、インクルーシブな取り組みを進めることは、共生社会を実現するために、極めて重要な取り組みとして求められています。

- みなさんを取り巻くこれからの社会では、少子化・高齢化、グローバル情勢の混迷、生成A I等デジタル技術の発展など、社会や経済の先行きに対する不確実性がこれまでになく高くなっており、みなさんは激しい変化が止まることのない時代を生き抜くことになります。
- その中で「自らの人生をかじ取りする力を身につけること」や「持続可能な社会の創り手となること」、「豊かな可能性を開花できること」が重要になってくるといわれています。
- みなさんが霧が丘高校を選び、3年間の高校生活をインクルーシブ教育実践推進校で学ぶことは、大変意義のあることと感じます。
- 本校で大いなる目標に向かい、高校生活を充実させることはもちろんのこと、多様性を尊重するインクルーシブ教育を学び、卒業後にはインクルーシブな社会の担い手となり、共生社会を実現するためのリーダーとなることを願っております。
- 本日からみなさんは霧が丘高校の一員です。霧が丘高校の生徒として、プライドを持ち、何事にも臆することなく、様々なことにチャレンジし、未来を切り拓いてもらいたいと思います。
- 我々教職員一同は、みなさんを全力で支えてまいりたいと思っています。何か不安なことがあれば、一人で悩まず、友だちはもちろん、先生にも気兼ねなく相談してください。
- 今後のみなさんの活躍を大いに期待しています。本日は、誠におめでとうございます。

令和7年4月7日

神奈川県立霧が丘高等学校
校長 都丸 利幸